

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月4日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 弘行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理グループ長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2020年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,952	△1.5	1,078	5.8	1,074	△2.0	718	△4.2
2019年3月期第3四半期	20,256	△1.2	1,019	52.9	1,096	△3.9	749	△17.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 687百万円(30.4%) 2019年3月期第3四半期 527百万円(△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	26.49	—
2019年3月期第3四半期	27.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,121	9,335	38.7
2019年3月期	24,490	8,810	36.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,335百万円 2019年3月期 8,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△0.0	900	△10.9	900	△17.5	610	△27.4	22.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	35,000,000株	2019年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,890,655株	2019年3月期	7,890,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	27,109,347株	2019年3月期3Q	27,109,352株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、各種経済政策の効果もあり、緩やかな回復基調が持続しましたが、消費税率引上げに伴う消費者マインドの動向や米中間の通商問題を巡る動向に引き続き留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.53セントで始まり、北半球における現物の余剰感から9月中旬に10.68セントの安値を付けました。12月に入ると原油先物相場の上昇とレアル高の進行から投機筋の買戻しが進み、粗糖先物相場の押上げ要因となり、13.67セントの高値をつけ、同水準を維持したまま当期を13.42セントで終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初187円～188円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類の国内販売は、消費税増税に伴う消費者の購買意欲の低下や近年関心の高まっている「フードロス」対策への各企業の取り組みも相まって厳しい販売環境となり、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は18,516百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は1,702百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、当社の代表製品である「オリゴのおかげ」シリーズの拡販に向けて、雑誌・CMなどの宣伝活動、主力量販店でのマネキン試食販売、各種キャンペーンの実施等あらゆる施策により、消費者の皆様へ寄り添った販売促進活動を展開してまいりましたが、オリゴ糖部門全体では減収減益となりました。

サイクロデキストリン部門は、主要アイテムや二次加工品の主要ユーザー向け販売が順調に推移したことから、サイクロデキストリン部門全体では増収増益となりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は1,390百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は254百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は101百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は47百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

以上の結果、当期の売上高は19,952百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は1,078百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は1,074百万円（前年同期比2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は718百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて146百万円減少し、6,747百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が307百万円増加した一方で、現金及び預金が153百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度に比べて222百万円減少し、17,373百万円となりました。これは主に、投資有価証券が117百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて369百万円減少し、24,121百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて894百万円減少し、14,785百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が260百万円減少、短期借入金が1,800百万円減少した一方で、長期借入金が1,296百万円増加したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて525百万円増加し、9,335百万円となりました。これは主に、利益剰余金が555百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が18百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,667	1,513
受取手形及び売掛金	1,923	2,230
商品及び製品	1,102	1,060
仕掛品	303	194
原材料及び貯蔵品	856	690
その他	1,041	1,057
流動資産合計	6,894	6,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,042	10,108
減価償却累計額	△6,660	△6,855
建物及び構築物(純額)	3,381	3,253
機械装置及び運搬具	11,554	11,636
減価償却累計額	△9,668	△9,809
機械装置及び運搬具(純額)	1,885	1,827
工具、器具及び備品	474	484
減価償却累計額	△400	△410
工具、器具及び備品(純額)	74	73
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	7	14
有形固定資産合計	10,583	10,403
無形固定資産		
ソフトウェア	101	103
その他	6	6
無形固定資産合計	108	109
投資その他の資産		
投資有価証券	4,801	4,684
長期貸付金	1,199	1,255
繰延税金資産	829	807
その他	73	113
投資その他の資産合計	6,904	6,859
固定資産合計	17,595	17,373
資産合計	24,490	24,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044	784
短期借入金	5,200	3,400
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,449
未払法人税等	249	148
未払消費税等	188	176
賞与引当金	77	39
その他	1,127	1,116
流動負債合計	9,218	7,112
固定負債		
長期借入金	5,490	6,786
退職給付に係る負債	637	561
繰延税金負債	18	16
その他	314	309
固定負債合計	6,460	7,672
負債合計	15,679	14,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	10,391	10,947
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	9,361	9,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△574	△592
繰延ヘッジ損益	0	△2
退職給付に係る調整累計額	22	13
その他の包括利益累計額合計	△551	△581
純資産合計	8,810	9,335
負債純資産合計	24,490	24,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	20,256	19,952
売上原価	16,213	15,795
売上総利益	4,043	4,156
販売費及び一般管理費	3,024	3,078
営業利益	1,019	1,078
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	111	111
持分法による投資利益	16	—
その他	7	13
営業外収益合計	155	145
営業外費用		
支払利息	70	60
持分法による投資損失	—	67
支払手数料	3	15
その他	3	5
営業外費用合計	78	149
経常利益	1,096	1,074
税金等調整前四半期純利益	1,096	1,074
法人税、住民税及び事業税	318	324
法人税等調整額	29	32
法人税等合計	347	356
四半期純利益	749	718
親会社株主に帰属する四半期純利益	749	718

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	749	718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	△15
繰延ヘッジ損益	2	△3
退職給付に係る調整額	0	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△2
その他の包括利益合計	△221	△30
四半期包括利益	527	687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527	687

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,794	1,376	85	20,256	—	20,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	24	15	55	△55	—
計	18,811	1,401	100	20,312	△55	20,256
セグメント利益	1,606	228	48	1,882	△863	1,019

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,503	1,364	85	19,952	—	19,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	26	16	56	△56	—
計	18,516	1,390	101	20,008	△56	19,952
セグメント利益	1,702	254	47	2,004	△925	1,078

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。